

## 関節リウマチ発症前の患者さんの研究へのご協力をお願い（患者さんご紹介のお願い）

拝啓

平素より栃木リウマチネットワークの活動にご参加いただき、誠にありがとうございます。

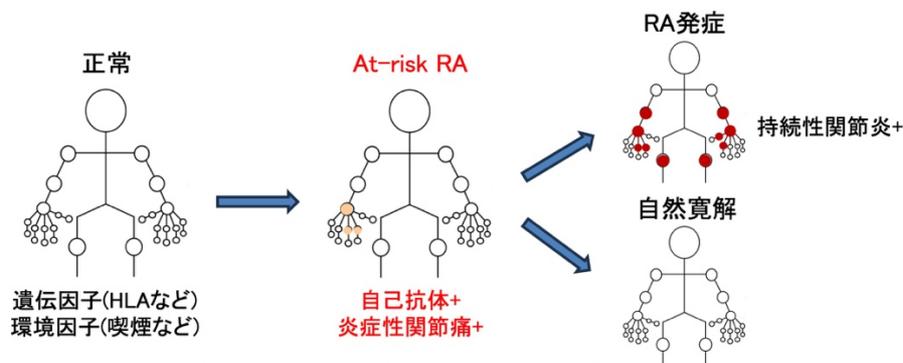
このたび、自治医科大学附属病院アレルギー・リウマチ科では、関節リウマチを発症する前の段階の患者さんを、一定期間追跡して調べる研究、を行っております。つきましては、先生方のご診療のなかで該当しそうな患者さんをご紹介いただきたく、お願い申し上げます。

関節リウマチ（RA）は、原因や発症のきっかけが今も十分には分かっていません。特に、血液検査で自己抗体が陽性、関節痛はあるが、まだ典型的な関節リウマチとまでは言えない、といった発症前の段階(at-risk RA)で、体の中で何が起きているのかは、ほとんど分かっていません。

本研究では、発症前の段階から約1年間、3か月ごとに追加採血を行い、関節リウマチを発症した方と、発症しなかった方とで、血液中の免疫の状態がどう違うのかを詳しく調べることを目的としています。

研究名：関節リウマチ発症における獲得免疫細胞可塑性の分子基盤解明

患者リクルート期間：2025年11月～2026年6月末（延長の可能性あり）



### 図 1. At-risk RA について

At-risk RA は自己抗体陽性かつ関節痛を呈し、高い RA 発症リスクを有する状態(≒プレ RA)です。持続的な RA を発症する直前の分水嶺の状態であり、その免疫学的な病態は未解明です。一部の症例は RA を発症するものの、自然寛解する例も多いことが知られています。

#### 1. ご紹介いただきたい対象患者さん

18歳以上の成人で、次のような特徴を持つ方を想定しています。

##### 血液検査で RA 関連の自己抗体が陽性の方

- ・リウマトイド因子（RF）陽性、かつ、抗 CCP 抗体陽性

##### 関節リウマチが疑われる「炎症性の関節痛」がある方

- ・手指や足趾、手首などの小さな関節が、数週間以上痛む

- ・朝のこわばりが1時間以上続く
  - ・起床時や安静後に痛みやこわばりが強くなる
- など、「変形性関節症」や単なる筋肉痛とは異なる関節痛をイメージしていただければと思います。

## 2. 研究の対象外となる主なケース(除外基準)

以下のような場合は、本研究の対象外となります。

- ・すでに「関節リウマチ」などの炎症性関節炎と診断されている
- ・すでに抗リウマチ薬（メトトレキサート、生物学的製剤など）による治療を開始している
- ・明らかな関節腫脹を伴う関節炎があり、典型的な早期 RA と考えられる場合
- ・変形性関節症や線維筋痛症など、「非炎症性の関節痛」と判断される場合
- ・直近3か月以内にステロイド内服・注射薬を使用している
- ・他の病気で免疫抑制剤・免疫調整薬を継続使用している

## 3. ご紹介方法・研究参加の流れ

上記のような患者さんがおられましたら、自治医科大学附属病院 アレルギー・リウマチ科外来（可能であれば火曜日：永渕外来）宛にご紹介いただければ幸いです。

当科外来にて、研究内容をご説明し、患者さんご本人から文書による同意を取得した上で、初回の診察と研究用採血を行います。その後は、3か月ごとの外来受診時に、追加の研究用採血を実施します。

RA 発症時の初期治療につきましても、当院で担当させていただき、状態が安定した後に先生方に逆紹介させていただきます。

## 4. 倫理面・費用負担について

本研究は、自治医科大学附属病院倫理委員会の承認を得て実施している前向き観察研究です。国の研究費 (AMED) の支援を受けて運営されており、研究についての費用負担はありません。診察や診療用の採血については通常通りの保険診療でのご負担が発生します。診療用の採血と同時に研究用の追加採血を行うことで、患者さんに負担が出来るだけ生じないよう配慮しております。

ご質問やご不明な点がございましたら、どうぞ遠慮なく下記までお知らせください。何卒よろしくお願い致します。

敬具

2025年12月10日

自治医科大学医学部内科学講座 アレルギー膠原病学部門

教授 佐藤 浩二郎（研究分担者）

講師 永渕 泰雄（研究責任者、電子メール: nagafuchi.yasuo@jichi.ac.jp）

研究事務局（研究に関する問い合わせ先）

自治医科大学医学部内科学講座 アレルギー膠原病学部門 宇田川千里

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1 Tel:0285-58-7358